

■11/20 Thu. Aging Center<Man'amko>



別件の仕事で訪サイパン時、高齢者の施設を視察したいというオファーに1件だけあるということでお連れ頂く。居住系施設はなく、いわゆるデイサービスセンター。

Director の Howard と簡単にミーティング。非常に歓迎して下さる。何度も diversity culture という言葉を(他のスタッフも)言われていた通り、様々な国(Originality)の高齢者がいるとわかる。ローカル専用という話を事前に聞いていたが、サイパン居住者対象ながら、実際は移民が多い様子。確認すると、ロングステイなどでも登録をすれば一時利用は可能とのこと。広々として良い感じのデイサービスセンター。アメリカ本土よりずっとゆとりがあり、広々して様々な趣味の部屋やスペースも多く、日本でいう高級有料老人ホームの「住む」がない、というイメージ。

スタッフの Walter が案内と取材に応じてくれ、大変親切に解説してくれるので予定より30分オーバーし、1時間半も滞在することに。Walter は、アメリカンの血が濃い or アメリカ人? 20代後半の若いヒップホップな男の子という感じだが、本人は老人がとても好きとのこと。前日、日本人永住者が「E に会ったら日本語喋りたいから離してくれないですよ」(E は 95 歳)と言われていたが、今日はいない様子。代わりに、あちこちの高齢ご婦人達に日本語でしゃべりかけられ、台湾の有料老人ホーム訪問時のような状態に。「私は昭和4年生まれなのよ」など言われてびっくりする。漢字はもう無理だけど、ひらがな、カタカナは大丈夫だそう。

多くのプログラムがあり、コンピュータークラスも盛況。ベーシックは今3クラス。様々なボランティアも受け入れている。スタッフもみな良い感じ。グランドゴルフ、ビリヤード、カードゲーム、ビンゴ、などを当日は開催していた。ソフトボールも2チームあり、結構真剣になってしまっでドクターから注意を受けることもあるとのこと。スポーツ・ゲーム類は誰かが Win できるようにしている。競争力が生まれることで脳への影響が良い。

利用は登録制度で120人程度が登録。1日に70~90人が利用。訪問当日は80人ちょっとだそう。送迎もしている。10~14時の利用時間だが、オフィスは7:30~16:30。ローカルはもちろん、日本人、フィリピン、韓国、中国、いろいろなオリジナルがいる。

最近作った新しいプログラムは、ドラマクラス。Walter は本来ミュージシャンらしいが、自分でスクリプトも書き、利用者が役者になって映画を撮っている。20人以上が参加。もちろん、ADL はいろいろな人がいるので、元気な高齢者にはスポーツなども勧めるが、Nursing な人にはイスのまわりでできること。TV を見ている人もいる。利用は60歳以上が可能(サイパンのリタイアは60歳)

火曜と木曜は医師が来てクリニックがオープン。ちょっとした遠足や旅行などもする。戦争記念館の映像を見た時、過去の記憶がフラッシュバックして、大変なことになったこともある。家族から見せないでと言われた。PTSD が出る。また、地元の企業の寄付や貢献も多い。スーパー(ジョーテン)での買い物も10%オフにしてくれたり。政府や弁護士、医師など地元の有識者も集まって年に1回会議をしている(個人的に参加してくれる)。Director が素晴らしい人で、いろいろと皆が楽しめるようにトライさせてくれる。Man'amko はサイパン地元の言葉で Older の意味。



利用者もスタッフも、明るい人が多くて(日本のように重度の人は少ない様子。しかし、後から Brenda に聞くと何人かはベッドの上の人もある、らしい)、通り過ぎると皆にっこりして「Hi!」とか「こんにちはー」と言ってくれる。おじいちゃんに、韓国語で話しかけられたことも(苦笑)。気分が明るくなるデイサービスセンターであった。

パソコンクラスの様子



メインルームでは、大ビンゴ大会
しかし、それぞれ違うことをしながら
備後に参加。お喋り、編み物、塗り絵…



男性はゲームやスポーツが多い様子
× マスツリーはエコツリーで、廃品利用
して利用者で作成